

# 高齢者への熱中症予防の啓発

大田原高校 50班

# 目次

- 研究背景
- 研究目的 · 意義
- 研究手法
- 参考 · 引用文獻

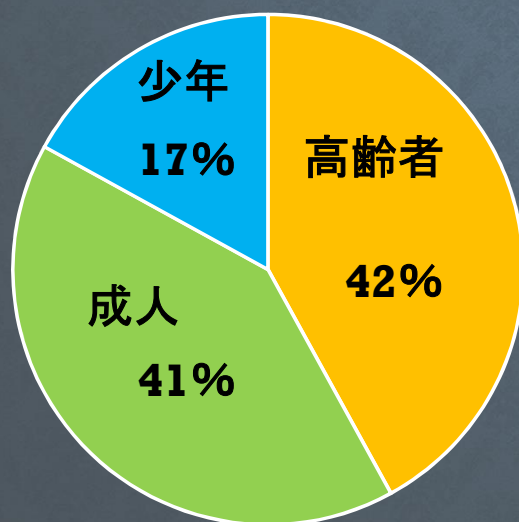
# 研究背景

- 気候変動に関するビデオ学習を通して、熱中症について興味を持った。
- 地球温暖化による平均気温の上昇に関係しているのか興味を持った。

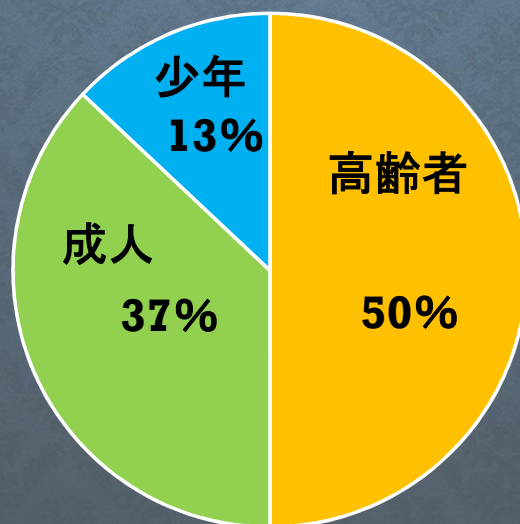
- 消防署や気象庁へのインタビューを通して高齢者の熱中症搬送者数が多いことが分かった。

## 県内の熱中症搬送状況（年齢区分別）

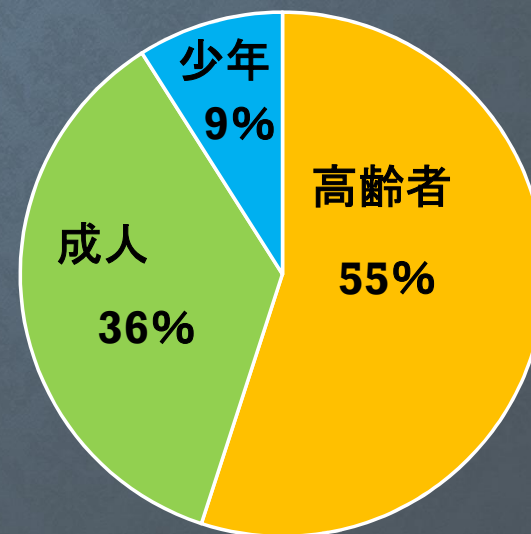
2018年



2019年



2020年



# 研究背景

- 熱中症のリスクは室内と室外でどちらが高いの？
- どのような対策が最適なの？



これらについて、文献を調べたり、実験を行い、室内と室外の熱中症の危険性を比較するなどして適切な対策を考えたい

# 仮説

室内と室外では室内の方が気流が少ないため、気温と湿度がともに高くなり、室内で多く過ごし、あまり動かない高齢者の方は熱中症になる危険性が高いのではないか。

# 研究目的・意義

- 室内と室外の熱中症のリスクを調べる
- それぞれの対策を考える
- 地域の高齢者に向けて発信する

**暑さ指数を自分たちで調べてみたい！**



# 研究手法

- 黒球温度計等を使ってみる

## 設置場所

校庭

教室

体育館

## WBGTの計算式

屋外  $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度計} + 0.1 \times \text{乾球温度計}$

屋内  $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度計}$

# 研究手法 I

## ●教室

- エアコンを使用する場合
- エアコンを使用せず換気をする場合
- 密閉する場合

1年1組	エアコンを使用
1年2組	エアコンを使用せず 換気をする
1年3組	密閉する

# 研究手法Ⅱ

- 体育館

- 換気をする場合（部活をしている間）

- ※窓は1階のみ開ける

- 密閉する場合



# 研究手法Ⅲ

## ●校庭

- 1日中、日が当たる場所
- 1日中、日が当たらない場所



これらの研究結果をもとに高齢者にもわかりやすいリーフレットを作り、紫塚地区の「見守り隊」に協力していただいて高齢者に熱中症の予防について発信し、救急搬送される人を減らす。

# 参考・引用文献

- 大塚製薬 熱中症に特に注意したい人

<https://www.otsuka.co.jp/health-and-illness/heat-disorders/caution/>

- 熱中症ゼロへ

<https://www.netsuzero.jp/learning/le01>

<https://www.netsuzero.jp/learning/le02>

<https://www.netsuzero.jp/learning/le13>

- 監察医の立場からみた熱中症死亡の実態

[https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/library/library\\_11.pdf](https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/library/library_11.pdf)

- 暑さに負けるな～熱中症予防と対策～

<https://www.chikugocity-hp.jp/outline/magazines/casestudy/ndoors/>

ご清聴ありがとうございました